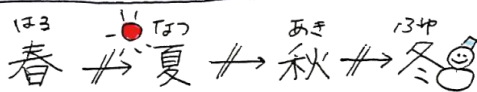


# 2/3 節分



平成 31年 2月 1日  
北空知圏学校給食センター

## 節分???



節分は「季節を分ける」という意味です。春夏秋冬の季節の変わり目ごとに年4回あったのですが、とくに冬と春の境とされた、「立春」の前日の節分が重要視されるようになりました。さまざまな行事や風習とともに今に伝えられています。



立春を迎えて暦の上では春ですが、寒さも厳しく、インフルエンザやかぜの流行も心配されます。好ききらいなく食べて質のよい食事をし、夜はしっかり休んで、かぜに負けない体をつくりましょう。



## どうして豆まきをするの?

豆まきは、「追な」という中国から伝わった風習です。「鬼やらい」「厄払い」ともよばれました。わざわいをもたらすと信じられていた邪気をこわい鬼に見立て、それを家の中に入れてないように、鬼が苦手とする「糞魚弱」を飾り、豆をまいて、一年の幸せと健康を祈ります。



## 鬼の苦手なもの



「糞魚弱」  
「糞魚弱」は、  
「糞魚弱」の  
頭とヒラキが2つ。  
この飾りを作って、玄関(かど)に  
花かんざしをする風習があります。

★今日の給食に、「節分豆」がつきます。  
豆（大豆）には古くから特別な力があると信じてきました。大豆は「畑の肉」といわれるほど良質のたんぱく質を含み、さらにビタミンB群、カルシウム、鉄など健康づくりに大切な栄養素がぎっしり詰まった食べ物です。